

保育についての提案

日本医師会男女共同参画委員会 小笠原 真澄

保育についての提案 contents



はじめに



現在用意されている保育資源(1)



現在用意されている保育資源(2)



保育についての国の助成制度



女性医師に求められる保育システム



保育システムの多様性



保育システムに関する提案



はじめに



女性医師が勤務を継続していくためには、柔軟かつ 多様な子育て支援が求められていることは、各種ア ンケート調査より明らかである。

今回は、現在あるシステムを有効に活用するための 提案をしたい。

現在用意されている保育資源(1)





認可保育所

認可外保育施設

- 一般認可外保育施設
- 事業所内保育施設(院内保育施設が該当)
- ベビーホテル
- その他 自治体認定・認証の施設

認定こども園

現在用意されている保育資源(2)





その他の多様な保育サービス

- 病児 · 病後児保育
- 一時保育
- 長時間延長保育
- 休日保育
- 24時間保育
- 保育ママ
- ベビーシッター

保育についての国の助成制度





1 両立支援レベルアップ助成金





2 病院内保育所運営費補助について

6

女性医師に求められる保育システム





- 他の職業に比し絶対数が少ない
- その専門性により個々の状況が異なる



画一的な支援策が取りにくい

労働形態の多様性 とともに

保育システムの多様性が求められる

院内保育の 充実

学童保育の 充実

制度利用の 柔軟性

保育システムの多様性





院内保育の充実

院内保育実施の義務付け·延長保育·24時間保育·病児· 病後児保育に対する柔軟な対応

(定期の予防接種の履行とともにムンプス·水痘に対する 予防接種の励行)

学童保育の充実

保育所に併設した学童保育施設(給食提供も含めて) 学童児に利用できる制度の整備·拡充

制度利用の柔軟性

勤務形態が非常勤であっても利用可とする 就労予定をもって入所申し込みを可能とする 年度途中での入所を容易にする

保育システムに関する提案





施設の設置や整備は大切なことではあるが、時間と費用を要する

特に早急な対応が求められているなかで、今あるシステム・利用できる制度を有効に組み合わせ、利用者の相談窓口となる・・・

「育児システム相談員(仮称)」

育成・ 設置を 提案

女性医師の勤務形態を理解し、その上で各種制度の利用や 手続きについて情報提供できる

このような相談員の養成、あるいは情報提供のしくみついて考えてみてはどうだろうか。

